

平成29年度の重点課題

- 男子
「握力」「長座体前屈」「反復横とび」「20mシャトルラン」「50m走」「立ち幅跳び」において、県平均値かつ全国平均値より低い学年がある。
- 女子
「握力」「反復横とび」「20mシャトルラン」「50m走」において、県平均値かつ全国平均値より低い学年がある。
- 全体
・A～Cの判定の児童は、89.8%と昨年度とほぼ変わらなかったが、「握力」「50m走」が県平均値かつ全国平均値より低い学年が多い。
・「握力」を県平均値かつ全国平均値より上回る児童は、41.2%にとどまっている。
・「50m走」を県平均値かつ全国平均値より上回る児童は、58.0%にとどまっている。

上記の課題を受けて具体的に取組んだ事項

- 改善計画を周知・徹底
児童・教職員に重点課題を周知し、体育の授業や学校行事などで徹底して行えるようにした。
- 体育授業の質の向上
体育主任・保健主事が単元の導入時の授業にT1として入り、45分の授業の流れを掴めるようにした。また、授業でもダッシュする機会を多く取り入れ、集合時などで全力疾走するようにした。
- 遊びの推奨
一輪車・竹馬を整備し、児童が多様な遊びを行えるように環境を整備した。また、基礎的な運動の能力を養えるように体育朝会などで遊びの紹介を行った。大休憩は原則、児童全員が外遊びをするよう全校で共通認識をもって取り組んだ。
- 元気づけタイム
握力・走力を高めるための運動・遊びを定期的に行った。
- 体育委員会主催の運動イベント活動
「マッスルフェスタ(腕相撲)」15.21m走のタイムチャレンジなどのイベントを開催した。
- 体力オリンピックの開催
昨年度と同様に、2学期に「体力オリンピック」を開催した。重点課題である「握力」「50m走」の2種目を授業で継続的に高め再測定した。伸び率のよかった児童を表彰することにより、自らの記録を向上させる意欲を高めた。
- 家庭との連携
長期休業中の宿題として体力アップ貯金カードの取組を実施し、家庭でも体力作りを行うとともに、家庭での体力作りの意識が高まるように啓発した。

平成30年度新体力テストの結果(県平均値(平成29年度)・全国平均値(平成28年度)との比較)

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第1学年	9.02	13.44	25.15	24.93	24.73	11.97	121.24	7.56	30.98	第1学年	8.79	12.68	29.43	25.39	22.32	12.20	116.14	5.36	32.29
第2学年	10.44	20.50	30.83	31.83	32.22	10.46	139.61	12.44	42.83	第2学年	10.08	18.11	32.39	31.92	28.47	10.93	131.29	9.42	43.47
第3学年	12.52	19.92	36.92	45.92	51.96	9.99	147.00	19.36	52.36	第3学年	12.59	20.55	40.64	45.68	41.32	10.21	138.64	11.55	54.82
第4学年	14.75	24.15	33.25	46.20	47.18	9.74	150.93	20.93	54.13	第4学年	14.59	23.44	37.81	39.04	36.19	10.03	148.63	14.44	55.74
第5学年	15.38	25.51	37.76	46.30	60.05	8.97	149.51	22.97	58.84	第5学年	17.95	26.00	45.11	48.21	54.84	8.87	153.89	18.37	66.68
第6学年	19.60	24.68	43.13	49.70	65.63	8.81	164.65	29.80	65.05	第6学年	20.79	28.55	49.34	48.00	59.21	9.18	164.72	19.93	67.76

県平均値かつ全国平均値未満

平成30年度新体力テストの結果(県平均値(平成30年度)・全国平均値(平成29年度)との比較)

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第1学年	9.02	13.44	25.15	24.93	24.73	11.97	121.24	7.56	30.98	第1学年	8.79	12.68	29.43	25.39	22.32	12.20	116.14	5.36	32.29
第2学年	10.44	20.50	30.83	31.83	32.22	10.46	139.61	12.44	42.83	第2学年	10.08	18.11	32.39	31.92	28.47	10.93	131.29	9.42	43.47
第3学年	12.52	19.92	36.92	45.92	51.96	9.99	147.00	19.36	52.36	第3学年	12.59	20.55	40.64	45.68	41.32	10.21	138.64	11.55	54.82
第4学年	14.75	24.15	33.25	46.20	47.18	9.74	150.93	20.93	54.13	第4学年	14.59	23.44	37.81	39.04	36.19	10.03	148.63	14.44	55.74
第5学年	15.38	25.51	37.76	46.30	60.05	8.97	149.51	22.97	58.84	第5学年	17.95	26.00	45.11	48.21	54.84	8.87	153.89	18.37	66.68
第6学年	19.60	24.68	43.13	49.70	65.63	8.81	164.65	29.80	65.05	第6学年	20.79	28.55	49.34	48.00	59.21	9.18	164.72	19.93	67.76

県平均値かつ全国平均値未満

重点課題

- 男子
「握力」「長座体前屈」「反復横跳び」「20mシャトルラン」「50m走」「立ち幅跳び」「ボール投げ」において、県平均値かつ全国平均値より低い学年がある。
- 女子
「握力」「反復横跳び」「20mシャトルラン」「50m走」「ボール投げ」において、県平均値かつ全国平均値より低い学年がある。
- 全体
○ 総合評価のABC率は、88.2%で昨年とほぼ変わらなかったが、「握力」、「50m走」で県平均値かつ全国平均値を上回る児童は49.2%、58.1%で、平成30年度の目標値(50%、60%)にわずかに届かなかった。

平成31年度の目標値

- 新体力テストの総合評価のABC率を90%以上にする。
- 「握力」において、県平均値かつ全国平均値を上回る児童50%以上にする。
- 「50m走」において、県平均値かつ全国平均値を上回る児童60%以上にする。

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

- 「握力」
一体育朝会、元気づけタイムで運動遊びを紹介し普及を図る。
家庭でできる握力アップ運動を紹介し長期休業中の宿題にとする。
腕相撲大会を開催し握力への関心を高める。
握力の再測定を行い伸び率の大きい児童を表彰する。
体育の授業で行う準備運動に鉄棒や雲梯を入れる。
- 「50m走」
一体育朝会、元気づけタイムで運動遊びを紹介し普及を図る。
家庭でできる走力アップ運動を紹介し長期休業中の宿題にとする。
一輪車、竹馬、縄跳びの推奨。大休憩は原則全員外遊び。
体育委員会主催のイベントを行い走力への関心を高める。
50m走の再測定を行い伸び率の大きい児童を表彰する。